

2011.6.1～2

第36回 全国公害被害者総行動デー

なくせ公害

まもろう地球環境

～公害根絶と平和をもとめて～



〔交渉報告書〕

全国公害被害者総行動実行委員会

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-1-3 サニーシティ新宿御苑10階

☎03-3352-3663

☎03-3352-9476

嘉手納飛行場の現実を知ってください。

私たち嘉手納町民はこれまで多くの基地被害を体験してきました。前回の10倍、町民の35%に迫る4916名の町民が原告団に参加した理由を知っていただきたい。そのためまず次の数字をご案内します。国策で基地があるので、国策で解決できると思います。

① 最初に基地そのものが如何に危険なものか述べます。

昭和34年に宮森小学校に落ち死者17名、重軽傷者21名の犠牲者を出したF100ジェット機はここ嘉手納基地から飛び立ちました。

また町内には昭和32年にボーイングKB50空中給油機、41年にはKC135空中給油機が落ちそれぞれ2名と1名死亡。重軽傷者も8名出しました。B52の爆発炎上、平成6年にF15が沖縄市白川に墜落など代表的な物でもこれだけ上げられます。昭和47年以降の沖縄県内で確認された米軍航空機関連事故は平成20年12月現在で487件あります。その中の323件が嘉手納基地で起こっている事実があること。

県全体の66%です。嘉手納基地で起こる航空機事故は世界1危険といわれる普天間の26倍以上であり常に生命の危険にさらされた環境といえます。この数字が物語るのは大きな事故が起こる可能性が常にあることを示しています。

② 次に基地から発生する公害について説明します。

爆音から取り上げます。嘉手納町が記録しているデータには70デシベル以上が5秒以上続いた回数が平成20年度は35,227回、平均で実に1日108回です。ひどい日には200回を超える騒音が発生します。

ここから飛び立った飛行機が近隣市町村に爆音を撒き散らしながら飛び回っています。

平成21年には夜間の午後10時から翌朝の午前6時まで年間4992回、寝ている時間に14回は基地から70デシベル以上の騒音が発生しています。

夜間・昼間を問わずプロペラ機が住宅地の側で長時間充電のために音と、不完全燃焼をした石油の匂いのする排気ガスを出し続け、南風の吹く日は町内に悪臭が漂い健康被害への不安があります。排気ガス、騒音の規制が米軍に対して行えないものなのか常に疑問を感じて暮らしています。私たちはさながら戦場の直ぐ側に住んでいる現実を日々感じています。

このような状態を少しでも良くするためにご尽力ください。「せめて夜くらいは静かに寝かして下さい」「昼間でも電話の音が聞き取れるくらいまで音を小さくして下さい」「航空機の排気ガスを吸いたくありません」「墜落の恐怖を感じて生活するのはいやです」「子供たちの卒業式や入学式を爆音で中断しない良い環境がほしい」私たちは特別なことは望んでいません。

最後に「静かな町、爆音でなく四季折々の音が聞きたい、子供や孫にそのような環境に住んでほしい」をまず実現したいことです。以上よろしく申し上げます。